

職員による自己評価

A 環境面

多数は肯定的な答えだった。車いすの児童のためのバリアフリー化の必要を感じる意見もあった。

B 児童への支援内容

肯定的な意見がほぼ全員から出た。

C 関係機関との連携

現状の学校等との関係に否定的な意見はなかった。

D 保護者への説明責任・信頼関係

連絡帳・面談等での情報共有、相談支援に対し、肯定的な意見が多かった。
情報発信の面で改善点の指摘があった。

E 非常対応

現状に否定的な意見は見られなかった。

保護者による評価

A 環境面

回答全体の大多数は肯定的な答えだったが、バリアフリー化、トイレの手すり設置、スペースに対して、改善を求める意見もあった。

B 児童への支援内容

支援計画、活動プログラムに対して肯定的な回答をほぼ全員から頂けた。さらに種類が増えてほしいとの意見もあった。

C 事業所からの情報発信

定期的な情報発信の項目で、どちらともいえない、の回答が多かった。
活動の様子を web などで写真で見たい、という意見があった。

D 非常対応

緊急・防犯マニュアルの説明の項目で、どちらともいえない、の回答が多かった。

事業所内での分析

【共通点】

- ・バリアフリー化に対して改善を求める意見があった。
- ・児童への支援内容は肯定的な意見がほぼ全員からもらった。
- ・情報発信の点に対して、積極的な発信を求める声があった。

【相違点】

- ・非常対応の点では保護者からは肯定的な意見がすくなく、職員の意見とのずれがあった。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・児童への支援内容、保護者との関係性の面では一定の評価を受けている。

・

事業所の改善点

- ・昨年に引き続き、情報発信の点はまだまだ改善の必要がある。保護者に満足していただける情報発信をしていく必要がある。

- ・車いすのこども達が過ごしやすい環境を作れるよう更なるバリアフリー化も取り組んでいく。

事業所の改善への取り組み

- ・引き続き、情報発信の改善に取り組んでいく。Web などを通じて活動の様子・情報共有等できないか考えていきたい。

- ・支援に対して高評価を受けているが、よりよい支援になるよう職員のスキルアップ等、更なる工夫をしていきたい。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

- ・情報発信に対しての改善をさらにすすめ、保護者が安心して利用できるような環境を整えていきたい。
- ・支援に対しての高評価、こども達が楽しんで通えている、という意見がとても励みになる。こども達の成長によりそい、さらに楽しく過ごせるような園を作っていきたい。

事業所名 よこはまことり園

担当者 水谷 飛鳥